

世の中よ道、辛なけれ
軽く止まて右折い

思ひ入る山の奥にも
中を広くするよう

鹿ぞ鳴くなる

中一ニ三

世の中というものは逃れる道がないものだ。
(この山奥に逃れてきたもの)この山奥でも、
(辛いことがあったのか)鹿が鳴いているではないか。
(百人一首 八三番 皇太后宮大夫俊成)